

「福島浜通りトライデック」2023 年度事業報告
(2023 年 4 月～2024 年 3 月)

1 調査研究の継続

[調査研究の実施項目]

- ・米国ハンフォード地域の経済発展とその福島浜通り地域への適応に関する調査研究
- ・福島浜通り地域の復興状況と今後の課題等に関する調査研究
- ・福島浜通り地域の経済発展に資するニーズ等のマーケット調査
- ・「創造的文理融合型人材」育成のための教育研究プログラム開発に関する調査研究
- ・福島浜通り地域の歴史・文化に関する調査研究
- ・福島浜通り地域の観光の再発見に関する調査研究
- ・福島浜通り地域の暮らしを再生する地域貢献と社会活動のプロモーションに関する調査研究
- ・その他福島浜通り地域の新たな視点からの復興創生に資する調査研究

[調査研究の主な実施状況]

- 福迫先生
 - ・「外国人留学生によるグローバル地域情報発信プロジェクト」(被災地からの情報発信)
 - ・シンポジウムの開催: 食品に関するリスクコミュニケーション「食品中の放射性物質と復興の歩み」(消費者庁との共催)
 - ・広野町「心の復興事業:みんながヒーローの広野まちづくり交流事業」、基調講演「これからの復興創生のまちづくり」(広野町「復興創生の日」制定記念式典 2023 年 9 月)
- 中村専務理事
 - ・全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム第三分科会、講演「東日本国際大学における東日本大震災からの復興創生への取組」、2023 年 9 月、常葉大学(静岡市)
- 河合先生
 - ・フィールドワーク、一般社団法人ふくしまオーガニックコットンプロジェクトの活動に学生とともに参加(2023 年 5 月、6 月、7 月)
 - ・「スマートシティ」の動向と地域課題解決の可能性について、東日本国際大学研究紀要(2024 年 3 月)
- 三浦先生
 - ・湯本駅前再開発に関する温泉事業等検討協議会に委員として参画

- ・いわき駅前みんなのパブリックスペース活用実行委員会のイベント「いわきサンシャインマルシェ」に参画
- ・「いわき平の街魅力発見プロジェクト」を実施し、いわき駅前再開発に関する「ほこみち」事業に参画
- ・一般社団法人いわき観光まちづくりレビューローが策定する「いわき市観光まちづくりビジョン」の作成に協力
- 鈴木先生(福島高専)
 - ・1F 廃炉に関するロボットの研究開発の実施

2 米国ハンフォード地域との連携

- 東日本国際大学等の学生をハンフォード地域へ派遣する。(2024年3月)
- ハンフォード地域及び福島浜通り地域の自治体等間の交流に関する連絡調整

[実施状況]

- 文部科学省の「大学の世界展開力強化事業-米国等との大学間交流形成支援-」に地方私立大学として初めて採択された。(参考資料1)
- ハンフォード地域及び福島浜通り地域の自治体等間の交流については、双葉地方町村会に提案したものの、令和2年当時とは各町村を取り巻く環境や各町村の復興状況にも大きな変化が生じていることから、8町村長が揃って当該視察を行うことは困難との回答を得た。(参考資料2)

3 福島浜通り地域の復興創生に関するセミナーの開催

- テーマ案……人材育成、農業、廃炉・ロボット、観光等

[実施状況]

- 「復興学連続セミナー」を、東日本国際大学の授業科目「復興学」の中で一般にもZoomを活用して公開し2023年12月～2024年1月に実施した。
 - 第1回 大和田 新 氏 (ラジオパーソナリティ)
「伝えることの大切さ、伝わることの素晴らしさ」
 - 第2回 大倉 智 氏 (株式会社いわきスポーツクラブ代表取締役)
「いわきFCの挑戦-復興から”選ばれるまち”へ」
 - 第3回 中村 隆行 (東日本国際大学副学長、一般社団法人福島浜通りトライデック専務理事)
「福島浜通りトライデック」の構築

4 福島浜通りを活性化するための連携教育プログラムの検討

- 文部科学省の「大学の世界展開力強化事業-米国等との大学間交流形成支援-」に応募する。(2023年6月)

- ・海外相手大学・・・ワシントン州立大学トライシティーズ校、コロンビアバーストン短期大学
- ・国内連携大学等・・・福島工業高等専門学校、一般社団法人福島浜通りトライデック

[実施状況]

- 文部科学省の「大学の世界展開力強化事業-米国等との大学間交流形成支援-」に地方私立大学として初めて採択された。(再掲)(参考資料 1)

5 提言書等の取りまとめ

- 福島国際研究教育機構(F-REI)に対する要望書を取りまとめる。

[実施状況]

- 福島国際研究教育機構(F-REI)に対する「要望書」を取りまとめ、2023年7月11日に、緑川代表理事からF-REIの山崎理事長に提出した。(参考資料 3)
- 学校法人昌平黌と福島国際研究教育機構との連携協力に関する基本合意書を、2024年6月7日に東日本国際大学において締結した。(参考資料 4)

6 復興創生に取り組んでいる関連組織との関係構築・連携強化

- いわき市が実施する「福島国際研究教育機構」との連携に向けた関係機関情報交換会及び市町村座談会へ参画する。

[実施状況]

- いわき市が実施する「福島国際研究教育機構」との連携に向けた関係機関情報交換会に、2023年4月及び2024年1月に参加した。

7 会員拡大、広報活動の強化

- 浜通り南部のみならず、北部及び中部地域への展開
(地方公共団体、商工会等との連携)
- 会員数の拡大(役員、顧問、評議員からの紹介、ウェブサイト等)

[実施状況]

- 会員数はさほど増加しなかった。
 - ・ 団体正会員 (12 団体(発足時) → 17 団体(2024年6月末))
 - ・ 団体賛助会員 (3 団体(発足時) → 3 団体(2024年6月末))
 - ・ 個人正会員 (18 人(発足時) → 18 人(2024年6月末))